

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 京都銀行(仮称)桂川研修センター | 階数 | 地上8F |
| 建設地 | 京都府京都市南区久世高田町376番 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域 | 平均居住人員 | 56人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 4,660時間/年 |
| 建物用途 | 事務所, ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2014年3月 0.0 | 評価の実施日 | 2014年3月13日 |
| 敷地面積 | 9,918 m ² | 作成者 | 養田朋章 |
| 建築面積 | 4,096 m ² | 確認日 | 2014年3月13日 |
| 延床面積 | 12,940 m ² | 確認者 | 養田朋章 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|--|
| 総合 自然エネルギーを利用した開放的でのびやかな建物 | その他 0 | |
| Q1 室内環境 宿泊室・寮の住環境(採光・遮音)を十分に確保する。 | Q2 サービス性能 1・2階の事務ゾーンと3階以上の宿泊ゾーンに応じた階高を設定し、空間の自由さを確保する。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化を積極的にを行い、段上のフォルムに合わせた屋上緑化を積極的に行う。 |
| LR1 エネルギー トップライト・太陽光エネルギー・自然通風を確保する。 | LR2 資源・マテリアル 雑排水を積極的に利用する。 | LR3 敷地外環境 駐輪場とゆとりある駐車場を確保する。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される